有限会社一平

宮崎県宮崎市

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント 高付加価値６次化商品（九州パンケーキ）の開発による産地の活性化とベンチャータウン構想

○九州の素材だけで作った高付加価値商品「九州パンケーキ」による地域活性化
○「九州パンケーキ」をメインとする海外でのカフェ展開により、インバウンドを呼ぶ
○九州の素材だけこだわった、地域連携型商品として売り込みを図っている

企業基本情報

所在地	宮崎県宮崎市高岡町小山田字麓 973 番地 2
電話 /FAX	0985-78-0018/0985-55-0653
URL	http://www.ippei-sushi.com/
代表者	代表取締役 村岡　浩司
設立	1996 年
資本金	1,300 万円
従業員数	130 人

会社概要

福岡産の赤米、佐賀産の胚芽押麦など、原材料の小麦・雑穀は全て九州“各県”産を使用した高付加価値型６次化商品のパンケーキ粉「九州パンケーキ」の開発･販売･プロデュース。「九州パンケーキカフェ」を 2015 年に台湾に、翌年にはシンガポールにオープン。カフェ店舗の好評を受けて国内外で認知度が向上し、小売店での「パンケーキ粉」の取扱いが増加（⇒産地の拡大）という好循環を生み出している。

「九州パンケーキ」

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

九州“各県”産の原材料を用いた「九州パンケーキ」

「九州パンケーキ」は､九州内の農業生産者の収益向上のため契約栽培で調達を行っており、高付加価値商品「九州パンケーキ」に加工し、付加価値を何倍にもすることにより、国内のみならず台湾やアメリカ等の海外にも販路を拡大し続けている。

商品の高付加価値化による売上拡大により、農業生産者の収入・経営改善にも大きく貢献しており、売上拡大により栽培生産者が増加し、農業振興の一翼をになっている。

九州の農業生産者と共に

「九州パンケーキ」をメインとする海外でのカフェ店舗展開

九州と、九州という地域を名前に冠したサービスが世界へ広がる事での地域の知名度アップから中期的なインバウンド効果にも繋げている。「九州パンケーキカフェ」を 2015 年の１月に台湾（台北市）に、翌年（2016 年）の１月には台北２号店をオープンした。５月にはシンガポールに海外３店舗目をオープンした。

2017 年５月からはアメリカの東海岸を中心に展開する、日系スーパー 16 店舗にてパンケーキミックスの展開を開始、2021 年には、アジアにて 27 店舗の「九州パンケーキカフェ」の契約を結び展開を進めている。同時に、ヨーロッパへの輸出も近日中に開始予定。

「九州パンケーキカフェ」台湾２店舗

九州の素材、産地にこだわった「九州パンケーキ」

「九州パンケーキ」の最大の特徴は使用する原料の全て（小麦・米・雑穀）を九州全県のみから調達し使用している点である。大分県の小麦をはじめ、長崎県のもちきび等九州全県の実り豊かな土地の恵みを独自に配合し、品質（味）においても高い評価を得ている。原料の産地を特定することは困難。全てがトレーサビリティ可能な原材料を使い、尚かつその全てを地域（九州産）にこだわっている商品は他にない。

九州全県から集めた、小麦、米、雑穀を使用した「九州パンケーキ」